

# キリスト教の基礎知識

## 「クリスマス」

### ●メルヘンチックなクリスマス？

文化としてのクリスマスはすつかり日本の文化に定着していきまので、ふだんあまりキリスト教と縁のない方でも、イエス・キリストの誕生の物語を様々なメディアを通して見聞きしたことがあるのではないかと思います。もしかしたら、学校等で降誕劇に出演した方もおられるかもしれません。

一般に知られているクリスマス・ストーリーでは、東方の博士たちが幼子イエス・キリストに贈り物を捧げた話や、野宿をしながら羊の群れの番をしていた羊飼いたちに天使が現れて、救い主イエスの誕生を告げるとい話話語が語られます。どちらも昔話に出てくるような、ほのぼのとした牧歌的な雰囲気の話と思われられるかもしれません。



### ●ほんとうは政治的なクリスマス物語

しかし、聖書そのものからクリスマスの記事をじっくりと読んでいきましたと、そこに描かれているのは子ども向けのメルヘンチックなストーリーではなく、当時の世界の厳しい現実を直視し、それに批判を加えるシリアスな物語であることが分かります。

またイの福音書によると、イエスがベツレヘムで生まれた時にユダヤの国を支配していたのはヘロデ大王でしたが、彼のも

とに東方の博士たちがやって来て、「ユダヤ人の王として生まれた方は、どこにおられますか」と尋ねます。自分の王座が脅かされるのを恐れたヘロデは、人を遣ってベツレヘム近辺の幼児を皆殺しにしました。イエスを逃れてエジプトに逃れていき

ますが、その姿は今日の政治難民のようです。ルカの福音書では、イエスの誕生物語はローマ帝国の支配を背景として描かれ、イエスはローマ皇帝と対比されます。天使による羊飼いの誕生告知の中には、「救い主」「福音」「平和」といった言葉が出てきますが、これらの言葉は元来宗教用語ではなく、ローマ皇帝を称賛するために使われた政治用語でした。つまり聖書は、世界に平和をもたらし真の救い主は皇帝ではなくこのイエスであると語っているのです。しかもそのような偉大な王であるイエスが、宮殿ではなく飼葉桶に寝かされるような貧しい環境に生まれる誕生の知らせも王侯貴族ではなく貧しい羊飼いに伝えられました。これは神がこの世の虐げられた人々を愛しておられることを表しています。

### 聖書を読む会 神はそのひとり子を

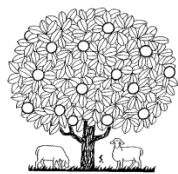
聖書の中でもっとも有名な箇所はどこでしょうか？

それは新約聖書ヨハネの福音書3章16節  
**「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」**  
 この短い一節の中に福音のすべてが要約されており、キリスト教の本質は、この一節によって完全に示されています。

この3章16節について、マルティン・ルターは「これは聖書の縮図、また小さき福音書である。」と称賛しています。なぜこの一句がそんなに称賛されるのでしょうか？  
 それは、この句のうちに次の5つがすべて含まれているからです。

- (1) 神は世を愛されたこと
  - (2) そのためにひとり子をお与えになったこと
  - (3) 私たちが滅びることがないために
  - (4) 永遠のいのちを持つために
  - (5) 御子を信じる者すべてが
- ここには最も大切な福音の真理が残らず含まれています。

今回は、そのうちの「神は世を愛された」「そのためにひとり子をお与えになった」について見ていきましょう。



この世はもともと神が造られた愛の世界でした。でも人が神に背を向けて、神から心を離し

たために損われてしまいました。愛の破れが広がって歪んで、戦いが尽きない世界になってしまいました。私たちは本当に愛したいと思いつつも、愛しぬくことができないのが「この世」です。

神様は「この世」を軽蔑されないので、むしろ愛してくださいました。そしてご自分の一番大切なものを与えるという、そういう愛し方をしてくださいました。神様に造られたにもかかわらず、その神を愛することはおろか、神に背を向け罪の奴隷になつて、背信と不遜の塊のような罪深い人間を神は限りなく愛してくださいました。そして私たちの罪をご自身のひとり子である御子イエスに背負わせ、十字架の上で断罪されました。それによって神は、私たちに罪の赦しと永遠のいのちを賜ったのであります。

自分に背くものに惜しみなく自らを与え尽くす、このような愛は、私たちのうちに存在しないばかりか、およそ私たちの知ることのできないものであります。ここに神の無限の愛があります。

### ★天文ひとくちメモ

今年の一〇月八日に七四歳で逝去した谷村新司さんの代表曲「昴(すばる)」。歌詞はなかなか哲学的で、さらば昴よとは、物質文明への別れを意味するとか。詳しくはお調べいただくと、この昴とはおうし座にある散開星団、M45プレアデス星団のことです。一月中旬の二一時頃、ほぼ天頂付近に、オレンジ色をしたおうし座の一等星アルデバランと、その西にひ

ときわ輝く木星とで平べったい三角形を構成していますから、空の暗い場所なら肉眼で探してみてください。「我は行く蒼白き類のままで／我は行くさらば昴よ」、この蒼白きとは、プレアデス星団の星々の色と掛け合わせているのかもしれない。プレアデスは数千万年前に生まれたばかりの(！)星団で、星の表面温度が数万度あり、ガスを大量に放出しているため、星団全体がどことなく霞んで青く見えるのです。かの清少納言が「枕草子」の中で「星は昴」と称えたのもわかる気がします。星団内で一番明るい星はアルキオーネ。そういえば、スバル(富士重工)にアルシオーネという車種がありましたね。スバルのエンブレムはプレアデス星団をあしらっていますから注目です。



# Christmas

- キャンドルサービス 12月23日(土) 午後7時～8時半  
★キャンドル片手に讃美歌を歌い、聖書のことばに耳を傾けます。
  - クリスマス礼拝 12月24日(日) 午前10時30分～正午  
★クリスマスにお生まれになったキリストと共に礼拝します。  
聖書や讃美歌集はお貸します。
- ※参加をご希望の方は事前にご連絡をお願い致します。  
お問い合わせは、電話045-572-0857 牧師:関野祐二まで。

### <定期集会所内>

- 主日礼拝 毎週日曜日 午前10時30分  
★一週間の始まりを、まことの神礼拝から。初めての方も歓迎です。新型コロナ感染防止対策に努めながら少人数での礼拝を実施しています。聖書や讃美歌集はお貸します。  
参加をご希望の方は事前にご連絡をお願い致します。
- 祈祷会 第2第4水曜日 午後7時30分  
参加をご希望の方は事前にご連絡をお願い致します。
- みことばの分かち合い/読書会 第2日曜日 礼拝後(変更になる月があります)  
★聖書/信仰書をみんなで読み、学んだことや感想を分かち合い、深く味わう会です。  
お問い合わせは、電話045-572-0857 牧師:関野祐二までどうぞ。

聖書がオーディオドラマになりました！

### 【配役】

- 大和田伸也 (神)
- 井上 芳雄 (イエス)
- 南沢 奈央 (マリア)
- 加藤 雅也 (モーセ)
- 鶴見 辰吾 (ダビデ)



無料でダウンロードできる  
スマホアプリ

## 聴くドラマ聖書

Japanese Drama Bible

Grace & Mercy

日本 G & M 文化財団



聴くドラマ聖書 PC版 : <https://dramabiblejapan.org>